

# えくび通信

令和六年九月号(第七十五号)

発行  
恵久美を元気にする会



## 水生生物の繊細な生態系に触れる

### 恵久美を元気にする会「水生生物ウォッチング」開催

令和六年八月十八日(日)  
西沼寺南側の神寄川で恵久美を元気にする会主催、恵久美環境保全会協力の三回目の水生生物ウォッチングが行われました。目的は子供達に川の生き物と触れ合う体験を通し



て身近な自然への関心を高めてもらおう機会を提供することです。参加者は小学生十名と保護者。今年は前回(令和四年七月)より一ヶ月ほど遅い実施となり、長い晴天と高温から川底や藻の上には泥が堆積し、藻や石ころの間からタモ網で生き物を探す作業には難儀などがありました。

そんな中、ヌマエビとメダカは簡単に採集でき、川のごく探してもこの2種ばかり目立っていました。高学年の子達と大政浩史さん(岡田西)の頑張りでモクスガニや魚ではオイカワ、ブルーギル、ヨシノボリ、タナゴも採集できました。石の裏側にはカワカイメンやナミウズムシ、ヒルなど付いていました。ナミウズムシ(通称プラナリア)については知っている子達もい



て、卵を産むのか、何を餌にしたら良いのかなど質問され驚きました。前はテナガエビやミズカマキリも採集できましたが、今回は大型の水生節足動物は見つかりませんでした。真夏の観察会でしたので、無理せず時間も短縮して終わり、環境評価の観点については省略しました。

最後に採集できた生き物は生物の五つの王国(原核生物界、原生生物界、植物界、菌界、動物界)の一つ、動物界の生き物で、海綿動物のカワカイメン、扁形動物のナミウズムシ、環形動物のシマイシビル類、イトミミズ類、軟体動物のタイワンシジミ、ドブシジミ、カワナナ、節足動物のミズムシ、ミナミヌマエビ、モクスガニ、脊椎動物のオイ

カワ、タナゴ類(ヤリタナゴとアブラボテの交雑種と思われる)、ブルーギル、ヨシノボリ類、視認でコイ、ナマズを確認できたことを説明しました。



ヤリタナゴとアブラボテの交雑種ヤリボテと思われるタナゴ

今回も大政浩史さんが庭先の作業場と水場を提供され、テントやテーブルを準備していただいた元気にする会、恵久美環境保全会の皆さんの力があつて実現できたと感謝しています。川の様子は日々変化しています。田や畑と密接に関連する川ですので春や秋には違った生き物に出会えるかもしれませんね。

元愛媛大学教育学部名誉教授

家山博史

自然環境保全・景観形成…  
地域の環境向上に貢献する

## 恵久美環境保全会

農業・農村は、土地の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観形成など多面的な機能があり、これらの利益は住民全員が享受しています。しかし、この恵久美においても農業者の高齢化、担い手の減少、非農家との混住化が進み、農村をめぐる構造の変化が生じており、従来から行っていた地域の共同活動が難しくなってきました。また、農用地、農道、水路の保全管理に農業者の負担が、今後増すことが心配されています。

地域の共同活動を支援すること、水路、農道の改修等を通して農村・農業の持つ多面的機能が適切に発揮されることを後押しする「多面的機能支払交付金」という国の制度があります。地域の活動組織が自ら、事業の計画・実施・報告をすれば、補助金が活動組織に交付されます。恵久美でも活動組織を立ち上げ「恵久美環境保全会」として、様々

な活動に取り組んでいます。

「多面的機能支払交付金」には、「農地維持支払交付金」と「資源向上支払交付金」との2種類があり、さらに「資源向上支払交付金」は「共同活動」と「施設の長寿命化」に分かれるという構成になっています。それぞれの分野の



恵久美れんげの集いで  
挨拶をする代表の郷田さん

活動に対して農地面積に応じた補助金が交付されます。補助金の額は地域内の青地（農振農用地のことで、農業以外の利用には厳しい制限があります）の面積に対して積算交付されます。今年度、恵久美では青地約28haに対し全体で241万円が交付されます。

「恵久美環境保全会」は、水路・農道の改修、農道の草刈り、水路の泥上げ、農道・水路の軽微な補修、外来種の駆除、植栽による景観形成、地域との交流等を計画実施しています。補助金の大部分は水路・農道の更新・改修に支出し、施設の長寿命化に取り組みます。この事業は5年間を一つの期間として行いますので、長寿命化については毎年1カ所の工事を予定しています。

これらの事業を通して恵久美の農村環境が向上し、農業基盤が整備され、農業が持続的に発展する一助になるとを願っています。

恵久美環境保全会

代表 郷田雄三

## 南海トラフ臨時情報は解除された？

必要以上に怖がらずに落ち着いて聞いてください。

ニュースを見てみると「南海トラフ臨時情報は終わり、安全宣言が出されました」と言っているように感じました。

気象庁の臨時情報は今も継続中です。解除される事は基本ありません。政府の「呼びかけ」期間を終了しただけで、発表から現在まで地震の起きる確率は下がっていません。

なぜ呼びかけは終了したか？

災害が起きていないなか避難生活を耐えられる時間、クレーンが起これない時間をアンケートでとり、1週間が妥当だろうと、事前に決まっていたので、「呼びかけ」を終了しただけで、あいかかわらず危険はそばにいます。

ですが、必ず1週間以内に起こるわけでもありません。レジャーに行きたい人は行けば良いし、趣味の時間も取れる人は楽しんで欲しいです。ただ、私がこんな不安をあお

るようなお話をするのは、いつ災害が起こるか分からないという今回皆さんが考えた事は頭の片隅に置いたままにして欲しいからです。

旅行や出張先の避難所を確認する。映画館に行った時に非常口の確認、仕事中に地震が起きた時に安全な場所を頭に覚えておく。そんな考え方を習慣化してもらえれば、きっと無意識で防災が出来る人になれます。車に乗る時にシートベルトをするように防災を当たり前にしましょう。

これまで熱心に読んでくださっている皆さんには伝わっていると思いますが、大切なのは事前の備えと、自分で考えて行動すること。耐震診断、家具の固定は出来ていますか？水や食料、非常用トイレの備蓄をあわてて買出しに行かなくても大丈夫ですか？世間では総裁選など話題が変わり地震への脅威がまた忘れられていきます。

これが読まれる頃にはテレビでも話題にあがらなくなっていると思います。喉元過ぎて熱さを忘れないでください

い。日常にちよこつと防災を取り入れて、安全で楽しく暮らしましょう。

恵久美防災士 小林祐介

## 恵久美を元気にする会新企画 えくび夜市開催

◆9月7日(土)

午後5時〜午後8時

恵久美グラウンド

夏休みが終わってちよこつと寂しい！そんなちよこつたちに朗報です。恵久美を元気にする会が夜市を用意！おもしろ射的は、来てくれたお子様全員に参加券をプレゼント。恵久美の人気者を狙い撃て！他にもコウモリひこうきや、夜空にきらめく不思議なシャボン玉ショーもあるよ！

ざりがに釣りやヨーヨーを釣ったりしながら、出店ではかき氷や、焼鳥、とり飯などを用意してお待ちしています。大人も子どももワクワクする夜を一緒にすごしましょう。

元取元「地域」次みを+地し二読美会をGETのを久るしを記「に登録を」下「に情報」コ「にのよ」

